

平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	独立行政法人交通安全環境研究所 運営費交付金（審査勘定）		担当部局庁	自動車局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～		担当課室	技術政策課		課長 江角 直樹		
会計区分	自動車安全特別会計 (自動車検査登録勘定)		政策・施策名	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 17 自動車の安全性を高める				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 (独立行政法人交通安全環境研究所法)		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	交通安全環境研究所に自動車等の審査及びリコールに係る技術的検証を行わせるための業務の運営に必要な経費。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	道路運送車両法第75条の4の規定に基づく自動車及びその装置の型式指定の際に、交通安全環境研究所に保安基準に適合するかどうかの審査を行わせている。また、同法の自動車のリコール制度において、同研究所に改善措置の内容が適切であるかどうかの技術的な検証を行わせている。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	822	822	821	862	-	
	執行額	822	822	793	-	-		
	執行率 (%)	100%	100%	96.6%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	自動車及び装置の審査	成果実績	件	3,752	4,803	3,795	-	
		達成度	%	-	-	-	-	
	リコールに係る技術検証	成果実績	件	532	554	364	-	
		達成度	%	-	-	-	-	
	不具合情報の分析	成果実績	件	3,754	3,802	4,476	4,000	
		達成度	%	125	95	112	-	
	車両不具合に起因した事故車両等の現車調査	成果実績	件	24	40	50	-	
		達成度	%	240	400	500	-	
	実証実験	成果実績	件	10	10	10	-	
		達成度	%	100	100	100	-	

活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
							活動実績 (当初見込み)
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	自動車及び装置の審査	件	3,752	4,803	3,795	—	
		%	—	—	—		
	リコールに係る技術検証	件	532	554	364	—	
		%	—	—	—		
	不具合情報の分析	件	3,754	3,802	4,476	4,000	
		%	(3,000)	(4,000)	(4,000)		
	車両不具合に起因した事故車両等の現車調査	件	24	40	50	—	
		%	(10)	(10)	(10)		
	実証実験	件	10	10	10	—	
		%	(10)	(10)	(10)		
	単位当たりコスト	運営費交付金のため対象外	算出根拠	運営費交付金のため対象外			
	平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由		
独立行政法人交通安全環境研究所審査勘定運営費交付金		862					
計		862					

事業所管部局による点検

項目		評価	評価に関する説明							
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	・道路運送車両法に規定されている自動車等の審査及びリコールに係る技術的検証を交通安全環境研究所に行わせるために必要な経費であり、優先度が高く、国が実施すべき事業である。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○								
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○								
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	・運営費交付金はすべて交通安全環境研究所において使用されており、費目・使途も必要なものに限定されている。							
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-								
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○								
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○								
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○								
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-									
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	・国が実施すべき事業を担う独法の運営に必要な経費を交付するものであり、交付金以外の手段はない。 ・道路運送車両法に基づく自動車の審査業務、自動車のリコールに係る技術的検証業務が確実に実施されている。							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○								
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○								
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-								
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">事業番号</th> <th style="width:45%;">類似事業名</th> <th style="width:40%;">所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	事業番号		類似事業名	所管府省・部局名					
事業番号	類似事業名	所管府省・部局名								
点検結果	<p>道路運送車両法の規定に基づき、自動車の審査業務、自動車のリコールに係る技術的検証業務を実施する我が国唯一の機関であり、業務の重複はなく、自動車の審査業務、国からの依頼による自動車のリコールに係る技術的検証業務が確実に実施されている。 また、契約監視委員会を設置し、契約状況の点検・見直しを行う等の取組を行ってきており、引き続き、適切な予算執行の確保を図ることとしている。</p>									

外部有識者の所見

--	--

行政事業レビュー推進チームの所見

--	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

--	--

備考

--	--

関連する過去のレビューシートの事業番号

	平成22年	325	平成23年	0303	平成24年	0311
--	-------	-----	-------	------	-------	------

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省
793百万円

国の行政に必要な自動車等の型式指定審査業務、リコールに係る技術的検証業務等を交通安全環境研究所に行わせる。



A. (独)交通安全環境研究所
793百万円

自動車等の型式指定審査業務、リコールに係る技術的検証業務等の実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					